



# 鳥取県における課題を解決する方策

## 1 課題を解決する方策

① 課題 : 医師、看護師の確保対策については様々な取り組みを実施しているところではあるが、医療の高度化や高齢化の進展、病院の看護体制の充実などにより医師、看護師の不足は続いており、更なる確保策が必要。

目標 : 医師、看護師を安定的に確保する体制を構築。

対策 : 医師確保対策事業の実施 (3.1 億円)

(1) 鳥取大学医学部に開設されている寄附講座への支援を拡充。

(2) 平成22年度に設けられた鳥取大学医学部等の臨時養成枠入学者等に対する奨学金(臨時特例医師確保対策等奨学金)を拡充。

看護師の確保の推進 (2.0 億円)

(1) 看護師養成の充実に向けた施設・設備整備等に支援。

② 課題 : 在宅医療について、病院、診療所、訪問看護ステーション、薬局、福祉サービスを行う機関の連携が進んでいないことから、地域住民のニーズに応えられる体制の整備が必要。

目標 : 住み慣れた場所で在宅医療、訪問看護を受けることができる体制を整備。

対策 : 在宅医療推進事業の実施 (1.1 億円)

(1) 在宅医療を提供する機関等を拠点として、介護支援専門員の資格を持つ看護師等及び医療ソーシャルワーカーを配置し、地域における包括的かつ継続的な在宅医療を提供するための体制を構築。

(2) 在宅医療の推進のための次の事業を実施。

・ 訪問看護ステーションが在宅医療に携わるための設備整備

・ 住民等を対象とした在宅医療に関する広報活動

・ 在宅医療連携体制の先進事例を県内全域に普及するための伝達研修の開催 等

# 鳥取県における課題を解決する方策

③ 課題 : 災害発生時のライフライン（電気・水道・電話等）の寸断により患者に影響が及ぶことが懸念される事態に対応できる体制を整えておくとともに、大規模災害時に傷病者を円滑に県内外に広域搬送できる体制を整備することが必要。

目標 : 災害時等に強い医療提供体制を構築。

対策 : 災害時の医療体制確保事業の実施（2.8億円）

- （1）ライフラインが寸断されるなどの災害時にも強い医療機関等の整備のための自家発電装置や耐震用貯水槽などの整備を拡充。
- （2）災害時の情報伝達手段（衛星携帯電話）を充実。
- （3）SCUの設置・運営に必要な医療資器材等を整備。

## 2 地域医療再生計画終了時の姿

この地域は、医師・看護師が増加し、医療提供体制を担う医療従事者が安定的に確保されるとともに、在宅でも安心して医療を受けられる体制が構築される。また、災害時にライフラインが寸断される事態が生じても出産や透析などの医療を続けられる体制が整備され、大規模災害時でも傷病者を円滑に県内外に搬送することが可能となる。

これらにより、住民ニーズに応えられ、安心して質の高い医療提供体制が持続される。

